



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 クボテック株式会社  
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	393	68.4	166		171		171	
2020年3月期第2四半期	1,243	44.2	77		71		69	56.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 172百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 64百万円 ( 63.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	12.46	
2020年3月期第2四半期	5.08	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	2,470	1,048	42.5	76.19
2020年3月期	2,799	1,221	43.6	88.69

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,048百万円 2020年3月期 1,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	54.8	240		250		230		16.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結連結業績予想の修正につきましては、本日公表しております「第2四半期業績予想と実績との差異、通期業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付書類8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	13,830,000 株	2020年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	62,159 株	2020年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	13,767,841 株	2020年3月期2Q	13,767,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、経済活動正常化に向けた動きが見られました。フラットパネルディスプレイ (FPD) の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資が低調に推移し、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、品質や採算を重視しつつ、受注の確保に注力してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症による投資需要の低迷などにより、大幅な減収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高393百万円（前年同四半期比68.4%減）、営業損失166百万円（前年同四半期は営業利益77百万円）、経常損失171百万円（前年同四半期は経常利益71百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は171百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が大幅に減少しました。この結果、売上高は168百万円（前年同四半期比82.9%減）、セグメント損失は140百万円（前年同四半期はセグメント利益132百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は193百万円（前年同四半期比2.3%減）、セグメント損失は17百万円（前年同四半期はセグメント損失56百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は31百万円（前年同四半期比49.6%減）、セグメント損失は15百万円（前年同四半期はセグメント損失17百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ328百万円減少しました。流動資産は売上債権の減少300百万円などにより、322百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少しました。流動負債は短期借入金の増加262百万円などにより、246百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少393百万円などにより、402百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失171百万円の計上などにより、純資産合計が172百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表しております「第2四半期業績予想と実績との差異、通期業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,875,636	1,867,843
受取手形及び売掛金	499,373	255,213
電子記録債権	60,429	4,140
商品及び製品	12,484	6,298
仕掛品	105,452	91,673
原材料及び貯蔵品	40,812	40,847
その他	16,049	20,086
貸倒引当金	△24,403	△23,081
流動資産合計	2,585,833	2,263,021
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	7,962	6,493
有形固定資産合計	7,962	6,493
無形固定資産		
ソフトウェア	179,815	172,571
その他	0	0
無形固定資産合計	179,815	172,571
投資その他の資産		
繰延税金資産	705	671
その他	25,524	28,419
貸倒引当金	△196	△196
投資その他の資産合計	26,034	28,894
固定資産合計	213,811	207,960
資産合計	2,799,645	2,470,982
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,619	27,562
短期借入金	579,424	841,640
未払法人税等	6,407	8,384
前受金	225,388	258,132
賞与引当金	3,840	3,550
その他	156,046	108,771
流動負債合計	1,001,726	1,248,040
固定負債		
長期借入金	522,440	129,000
繰延税金負債	2,274	1,866
退職給付に係る負債	46,776	38,789
その他	5,295	4,292
固定負債合計	576,786	173,948
負債合計	1,578,512	1,421,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△677,722	△849,318
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,192,310	1,020,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	1,179
為替換算調整勘定	28,822	27,099
その他の包括利益累計額合計	28,822	28,278
純資産合計	1,221,133	1,048,992
負債純資産合計	2,799,645	2,470,982

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,243,501	393,392
売上原価	780,081	273,548
売上総利益	463,420	119,843
販売費及び一般管理費	386,062	286,342
営業利益又は営業損失(△)	77,357	△166,498
営業外収益		
受取利息	225	141
受取配当金	188	302
その他	249	26
営業外収益合計	662	470
営業外費用		
支払利息	5,624	3,940
為替差損	835	1,093
その他	12	3
営業外費用合計	6,472	5,037
経常利益又は経常損失(△)	71,548	△171,065
特別利益		
関係会社清算益	1,483	-
特別利益合計	1,483	-
特別損失		
特別退職金	1,456	-
特別損失合計	1,456	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	71,574	△171,065
法人税等	1,697	530
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,876	△171,596
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	69,876	△171,596

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	69,876	△171,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,120	1,179
為替換算調整勘定	△3,805	△1,723
その他の包括利益合計	△4,926	△544
四半期包括利益	64,950	△172,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,950	△172,140
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	71,574	△171,065
減価償却費	79,374	93,535
貸倒引当金の増減額(△は減少)	293	△1,281
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,000	△290
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,220	△7,986
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△32,430	-
受取利息及び受取配当金	△413	△443
支払利息	5,624	3,940
為替差損益(△は益)	942	1,497
売上債権の増減額(△は増加)	42,957	299,660
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,485	19,276
仕入債務の増減額(△は減少)	106,069	△1,693
未収消費税等の増減額(△は増加)	14,381	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	24,181	△36,720
その他	10,833	24,281
小計	339,653	222,712
利息及び配当金の受取額	411	440
利息の支払額	△5,310	△3,729
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△879	1,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	333,874	220,607
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,358	△1,346
有形固定資産の取得による支出	△5,883	△5,833
ソフトウェアの取得による支出	△81,305	△83,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,547	△90,730
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	57,488
長期借入金の返済による支出	△221,712	△188,712
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,712	△131,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,770	△6,449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11,843	△7,795
現金及び現金同等物の期首残高	2,228,526	1,843,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,240,370	1,836,166

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」という。）に伴う当社グループへの直接的な影響は、主に本感染症による外出自粛等に伴う当社グループの営業活動の制限や取引先の投資需要の低迷などによる売上減少であります。一方で、本感染症が一般的な経済活動や事業環境に及ぼす影響は、広範かつ多岐にわたると考えられ、また、その今後の広がり方や収束時期等を含め、当社グループへの影響を将来にわたって定量的に予想することは極めて困難であります。

したがって、当社グループは、2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するものとの仮定を前提とし、当社グループが現時点で把握できる最新の情報等を踏まえて、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、本感染症の収束時期等の変動によって、当社グループの財政状態並びに経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	983,324	197,803	62,374	1,243,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117,160	—	9,656	126,817
計	1,100,485	197,803	72,030	1,370,319
セグメント利益又は損失(△)	132,063	△56,765	△17,576	57,720

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	57,720
セグメント間取引消去	2,642
内部利益の調整額	△692
貸倒引当金の調整額	17,687
四半期連結損益計算書の営業利益	77,357

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	168,636	193,330	31,424	393,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	99,572	—	9,000	108,572
計	268,209	193,330	40,424	501,964
セグメント損失(△)	△140,428	△17,914	△15,441	△173,783

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△173,783
セグメント間取引消去	2,562
内部利益の調整額	4,462
貸倒引当金の調整額	260
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△166,498

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

### 3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して営業損失を計上し、また受注残高が著しく減少しておりました。特定の市場・顧客の設備投資及び特定の顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。当第2四半期連結累計期間においても営業損失を計上し、厳しい受注環境が続いていることから、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するため事業構造の改革に取り組んでおり、重要な資金繰り懸念もないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、次のとおりであります。

画像処理外観検査装置においては、特定の市場や顧客の設備投資動向、受注に依存するこれまでの状況から、機能性フィルムや次世代パネル検査装置などの品質や採算を重視した市場、製品を収益の柱とする事業への転換を進めております。

3Dソリューションシステムにおいては、当社エンジンを採用した3次元比較検証ソフトウェアなど新製品や、メディアネット機器では、市場ニーズの高い放送局向けなどにHEVCを採用した映像伝送装置の販売拡大に注力しています。

生産に関しては工場を統廃合し業務の効率化を図り、また人件費など固定費を削減することで、財務体質の強化を進めております。

さらに新規事業として次世代フライホイールを用いた大出力発電装置やオーディオ事業の早期事業化を推進してまいります。